

平成17年度地域冷暖房技術研修会報告

平成17年11月17日、18日と2日間にわたり『第12回地域冷暖房技術研修会』を開催致しました。

第1日目は東京ガス(株)浜松町本社2階会議室で講演会を行ない、第2日目は「さいたま新都心地域冷暖房センター」の見学会を行いました。

ご承知の通り、我が国は今年に入り京都議定書発効を受け、4月に京都議定書目標達成計画が閣議決定される等、地球温暖化対策の重要性がますます増大してきています。

そうした中、省エネルギー効果、環境負荷削減効果のほか未利用エネルギーの受入機能に優れている地域冷暖房設備の導入は地球温暖化対策の有効な解決策として期待されています。

こうした背景のもと、このたび技術委員会では下記のように地域冷暖房関係者に興味あるテーマを厳選し例年にないテーマを取り上げました。

今回の研修会は、第1日目午前に関東交通省 市街地整備課長 竹内様より基調講演として「地域冷暖房の将来展望」について、次に当協会の受託研究から「地域冷暖房の外部経済評価の実証」に付いて講義頂き、午後から分散型電源の推進より「ガスエンジンコージェネレーションの最新動向」や都市再生における地域エネルギーシステムの事例紹介として「汐留地区」および「晴海地区」の2地区の講義を頂きました。

第2日目は首都機能の一翼を担う街「さいたま新都心地域冷暖房センターの見学」など、一段と内容の充実を図りました。

当日は協会会員、熱供給事業協会会員、さらには学生を含め 85 名の参加があり、終日熱心に聴講頂き、また翌日の施設見学会にも多数参加して頂くことが出来ました。これらは、ひとえに会場を提供下さった東京ガス(株)様、各講師の皆様の熱意とお忙しい中見学会を快諾下さった、エネルギーアドバンス(株)の所長様以下のご協力の賜物であり、ここに深く御礼申し上げる次第であります。

ここに、平成17年度技術研修会の概要と写真などを掲載し、その報告とさせていただきます。

【第1日目】

講義内容	講師
開会挨拶	協会技術委員長 岡村 明彦
ご挨拶	東京ガス 大谷 勉
1. 「地域冷暖房の将来展望」	国土交通省 竹内 直文
2. 「地域冷暖房の外部経済評価の実証」	高砂熱学工業 谷野 正幸
3. 「配管の溶接と非破壊検査の実際」	旭テック 吉野 茂
	東京理学検査 小野 三典
4. 「ガスエンジンコージェネレーションの最新動向」	東京ガス 国分 晋裕
5. 「都市再生における地域エネルギーシステムの事例紹介」	
1) 事例(1)「汐留地区」	汐留アーバンエネルギー 杉原 基
2) 事例(2)「晴海地区」	日建設計 岡垣 晃
閉会挨拶	地域冷暖房協会 長瀬 龍彦

【第1日目】

東京ガス(株)大谷執行役員によるご挨拶



国交省竹内課長による講演



会場風景-1



会場風景-2



【第2日目】さいたま新都心地域冷暖房センター見学会

需要家の一つ「さいたまスーパーアリーナ」



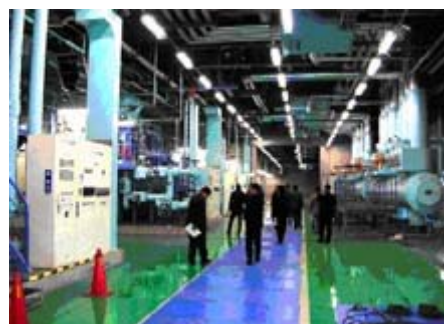
供給区域全体模型



ビデオによる地冷センターの紹介



プラント見学風景



世界最大級蒸気吸収冷凍機(5,000RT)



水管式蒸気ボイラ(45トン/h)



ガスタービンコージェネレーション 説明板
(本日は定期点検中でした)



ガスタービン発電装置
(電力:2,000kW、蒸気:6 ton/h)



冷却塔内部より
(重層式冷却塔、白煙防止装置付)



電気室内 トランス

